



⑦「をみなへし・花薄」といへることを、置い据ゑてよめる歌、詠んだ

⑧ 小野の萩

以前に  
見し秋に似ず  
たのようでなく  
成りぞ増す  
たくさん増えている

萩を見ないで

萩はこんな  
時間が経ったことさえ失敗だったなあ  
経しだにあやな  
目立った変化をしているんだから  
しるしけしきは

あなたがこんなにも美しく変わったのであれば、放っておかなかったのに。

⑨これは、下の花薄をば、逆さまに読むべき  
読まなければならないのである  
なり。

これも一つの姿  
読み方である  
なり。